

Overview: 悪魔サタンは罪の源です。罪は邪悪な者であるサタンの邪悪な性質です。サタンはアダムの墮落を通して自分自身を人の中へと注入して、今や罪深い性質そのものとなりました。それは墮落した人の中で法則として住み、活動し、働いています。罪は不法です。意図しないで罪を犯すことが表徴するのは、私たちの墮落した性質の中にある罪、すなわち、内住する罪が、私たちに無意識のうちに罪を犯させるということです。罪のためのささげ物が表徴するのは、キリストが私たちのために罪とされ、十字架上での彼の死を通して、罪を罪定めたということです。キリストは罪を知らなかった方として、私たちに代わって罪とされました。それは、私たちがキリストの中で神の義となるためでした。私たちは再生された後、依然として、毎日キリストを私たちの罪のためのささげ物とし、また私たちの違犯のためのささげ物とする必要があります。人が神によって創造されたのは、神を表現し代行するためです。人は神以外の何ものためでもあるべきではなく、神のために絶対的であるべきです。もし私たちが自分自身のために、すなわち自分自身の名声、地位、利益、誇りのために他の人を愛するなら、これは罪です。もし私たちが自分自身のために、また自分の将来のために子供を育てるなら、これは罪です。キリストが私たちの罪のためのささげ物となり、肉において罪を罪定めたことの結果として、私たちは肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩くことができます。

I. 「単数の罪」は私たちの性質の中の内住する罪を指しています。「複数の罪」は罪深い行為、すなわち、内住する罪の実を指しています:

A. 悪魔サタンは罪の源です:

1. 人の墮落を通して、サタンのパースンは人の魂と一になりました。サタンは人の体の中へと入り込んで罪となり、人の肉の肢体の中で悪を行なっています。2. 悪魔は罪人たちの父、うそつきの父であるので、罪人たちは悪魔の子供たちです。3. 私たちは罪科の中で生まれ、母の胎の中でアダムにある罪を持ち、生まれつき蛇の毒を持っていました。それは、私たちを蛇、まむしの子らとします。

B. 罪は邪悪な者であるサタンの邪悪な性質です。サタンはアダムの墮落を通して自分自身を人の中へと注入して、今や罪深い性質そのものとなりました。それは墮落した人の中で法則として住み、活動し、働いています。

C. 罪は不法です。

II. 意図しないで罪を犯すことが表徴するのは、私たちの墮落した性質の中にある罪、すなわち、サタンからアダムを通して人類の中へと入って来た内住する罪が、私たちに無意識のうちに罪を犯させるということです:

A. この罪は、ローマ第7章において人格化されていて、サタンの邪悪な性質であり、さらにはサタン自身でさえあって、私たちの墮落した肉の中に住んでいます。私たちの肉は罪と一であるので、私たちが自分の肉から行なうことは何であれ、善であつても悪であつても、罪です。

B. さらに、肉は墮落した人を示しているの

で、墮落したあらゆる人は罪です。』

III. 罪のためのささげ物が表徴するのは、キリストが私たちのために罪とされ、十字架上での彼の死を通して、罪を罪定めたということです:

A. 神である言は、罪の肉の様において、すなわち墮落した人の様において肉体と成りました:

1. キリストは人の様においてのみ墮落した人であったのですが、キリストが十字架上にいた時、神はその様を実際のものに見なしました。2. 罪、古い人、サタン、この世、この世の支配者はみな肉と一であるので、キリストが肉体において死んだ時、罪は罪定めされ、古い人は十字架につけられ、サタンは滅ぼされ、この世は裁かれ、この世の支配者は追い出されました。3. このゆえに、すべての消極的な事柄は、キリストの肉体における死を通して対処されました。これが罪のためのささげ物の効力です。

B. 人の肉の中にあるサタンの邪悪な性質は、キリストが蛇の形において死ぬことを通して、十字架上で裁かれました。それは信者たちが永遠の命を得るためです。

C. キリストは罪を知らなかった方として、私たちに代わって罪とされました。それは、私たちがキリストの中で神の義となるためでした。』

IV. 私たちは再生された後、依然として、毎日キリストを私たちの罪のためのささげ物とし、また私たちの違犯のためのささげ物とする必要があります:

A. ささげ物の頭の上に手を置くことは、ささげる者とささげ物との結合を表徴します。

B. キリストを私たちの罪のためのささげ物とすることが意味するのは、墮落した人の性質の中にある罪が罪定めされ、私たちの古い人が対処され、罪そのものであるサタンが滅ぼされ、この世が裁かれ、この世の支配者が追い出されるということです:

1. 「この世の支配者」の「支配者」という言葉は、権威や権力、権力闘争を暗示しています。2. 権力闘争は、肉、罪、古い人、サタン、この世、この世の支配者の結果、結末です。3. 罪は権力闘争と関係があり、罪の法則は神と争う自然な能力、力、活力です。』

C. 私たちは、光である神との真の、親密な、生きた、愛の交わりを通して、自分が罪深いことを認識し、キリストを私たちの罪のためのささげ物とします:

1. 私たちは主を愛し享受すればするほど、ますますいかに自分が邪悪であるかを知ようになります。

2. 私たちは自分が罪深い性質を持っていることを認識して、キリストを私たちの罪のためのささげ物とすることによって、裁かれ服従させられます。そしてこのような認識は私たちを保護します。なぜなら、この事は私たちが自分自身に何の信頼も置かないようにさせるからです。

3. 私たちはダビデの経験から学び、自分自身にほんのわずかな信頼も置かないようにすべきです。

4. 神は苦痛のある方法を用いて、私たちが失敗することを許します。それは私たちがいかに自分がひどくて、醜く、忌むべきものであるかを見て、自己から出てくるすべてのものを放棄し、神に完全に依り頼むためです。』

D. 私たちは全焼のささげ物としてのキリストを、すなわち、神のために絶対的である方を享受するとき、いかに自分が罪深いかを認識します。そして、私たちの罪のためのささげ物としてのキリストを享受することができます: 1. 人が神によって創造されたのは、神を表現し代行するためです。人は神以外の何ものためでもあるべきではなく、神のために絶対的であるべきです。

2. 私たちが自分自身から行なうどのような事も、善くても悪くても、自分自身のためです。そしてそれは自分自身のためであつて神のためではないので、神の目に罪深いのです:

a. もし私たちが主に仕えることが自分自身のためであるなら、これは罪です。

b. もし私たちが自分自身を宣べ伝えるなら、これは罪です。

c. もし私たちが自分自身のために義なる行ない(施し、祈り、断食のような)をして、自分自身を表現し見せびらかすなら、これは罪です。

d. もし私たちが自分自身のために、すなわち自分自身の名声、地位、利益、誇りのために他の人を愛するなら、これは罪です。

e. もし私たちが自分自身のために、また自分の将来のために子供を育てるなら、これは罪です。』

V. 罪のためのささげ物の血には四種類の効力がありません:

A. 血の一部は集会の天幕に持って来られ、エホバの御前で至聖所の垂れ幕の前に七たび振りかけられました。これが表徴するのは、キリストの血が私たちの贖いのために、天の至聖所へもたらされたということです。

B. 血の一部は香壇の角に付けられました。これが表徴するのは、キリストの血による贖いが、私たちが祈りの中で神と接触することを通して、神の臨在の中へもたらされるのに効力があるということです。

C. 血の一部は全焼のささげ物の祭壇の角に付けられました。これが表徴するのは、キリストの血が私たちの贖いのために効力があるということです。

D. 血の残りは全焼のささげ物の祭壇の基に注ぎ出されました。これが表徴するのは、キリストの血が私たちの良心の平安のために十字架で注ぎ出されて、私たちが神によって贖われ受け入れられていることを私たちに保証したということです。

VI. キリストが私たちの罪のためのささげ物となり、肉において罪を罪定めたことの結果として、私たちは肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩くことができます。』

第一日: ローマ5:12 こういうわけで、一人の人を通して罪がこの世に入り、そして罪を通して死が入ったように、すべての人が罪を犯したために、死がすべての人に及びました。

詩51:5 まことに、私は罪科の中で生まれ、罪の中で、私の母は私を身ごもりました。

Iコリント15:3 私が受けて、あなたがたにも伝えたことは、まず第一に、キリストが聖書にしたがって、私たちの罪のために死なれたこと。

第二日: ローマ8:3 律法が肉のゆえに弱くて、なし得なかったので、神は、ご自身の御子を罪の肉の様で、罪のために遣わし、肉において罪を罪定めされました。

IIコリント5:21 神は罪を知らなかった方を、私たちに代わって罪とされました。それは、私たちが彼の中で神の義となるためです。

ヨハネ1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。それは恵みと実際に満ちていた。私たちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であった。

3:14 そして、モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければならない。

第三日: Iヨハネ1:8 もし、自分には罪がないと言うなら、私たちは自分を欺いているのであって、真理は私たちの中ありません。9 もし、私たちが自分の罪を告白するなら、神は信実で義であられるので、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださいます。

レビ4:3 もし、油塗られた祭司が罪を犯して、…彼は自分が犯した罪のために、傷のない群れの雄牛一頭を罪のためのささげ物として、エホバに献ささげなければならない。

4 その人は…その雄牛の頭の上に手を置き…。

第四日: Iヨハネ1:5 さて、私たちが彼から聞いて、あなたがたに伝える知らせはこれです。

すなわち、神は光であって、神の中には少しの暗やみもありません。

7 しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めます。

ピリピ3:3 なぜなら、私たちこそ割礼の者であり、神の霊によって仕え、キリスト・イエスの中で誇り、肉を頼みとしていないからです。

第五日: レビ6:25 罪のためのささげ物の規則は次のとおりである。罪のためのささげ物は、全焼のささげ物がほふられる場所で、エホバの御前にほふられなければならない。それは最も聖いものである。

マタイ6:1 あなたがたは、人に注目されようとして、自分の義を人の前で行なうことがないように注意なさい。そうでないと、あなたがたは、天におられるあなたがたの父の褒賞を受けることはない。

3 しかし、あなたは施しをするとき、右の手がしていることを左の手に知らせてはならない

第六日: レビ4:4 その人はその雄牛を、集会の天幕の入り口に、エホバの御前に持って来て、その雄牛の頭の上に手を置き、その雄牛をエホバの御前でほふらなければならない。

5 油塗られた祭司は、その雄牛の血から取り、それを集会の天幕の中に持って来なければならない。6 祭司は指をその血の中に浸し、その血を、エホバの御前で聖なる所の垂れ幕の前に七たび振りかけなければならない。

7 また、祭司はその血を、集会の天幕の中にあるエホバの御前のかおり高い香の祭壇の角に付け、その雄牛の血の残りすべてを、集会の天幕の入り口にある全焼のささげ物の祭壇の基に注ぎ出さなければならない。

25 祭司は、指でその罪のためのささげ物の血から取り、それを全焼のささげ物の祭壇の角に付けなければならない。彼はその血の残りを、全焼のささげ物の祭壇の基に注ぎ出さなければならない。

ガラテヤ6:15 割礼も無割礼も重要ではありません。重要なのはただ新創造です。

16 そして、この規範によって歩くすべての人、すなわち、神のイスラエルの上に、どうか平安とあわれありますように。

経験①: 神は人の失敗と失望を用いて、罪のためのささげ物としてのキリストに来させる

信者の中における聖霊の最初の働きは、彼が救われた後、彼に自己を知らせることです。それは、彼が神のみこころにしたがって、自己から出てくるすべてのものを放棄し、神に完全に依り頼むためです。しかし、それは何と難しいことでしょう！自己を認識することは、何と人に栄光を与えないことでしょう！自己を捨て去ることは、何と耐え難いことでしょう！しばしば信者は自己を知らず、知ろうとしません。彼は自己を知らないのに、自己は信頼できるものであると考えます。彼は自己を知ろうとしないので、聖霊は神の光の下で彼の真の状態を彼に啓示することができません。このような状況の下で、神はさらに苦痛のある方法を用いて、信者に自己を知らせるしか方法はありません。この方法は、神が故意に彼が失敗することを許すことです。しばしば、信者たちは霊的な行程においてわずかに前進するとき、自分たちは勝利を得ており、聖別されていると感じます。しかし、彼らが満足しているとき、神は彼らを失敗させ、他の人と同じように、あるいは他の人たちよりもさらに悪い罪を犯させ、こうして彼らに、彼らが他の人よりも全く良くないことを認識させます。

もし私たちにローマ人への手紙第7章の経験がなければ、すなわち、もし私たちが自分自身の失敗を見ないなら、私たちは勝利を得ることはできません。私たちはすでにキリストンになって長年になります。なぜ主は私たちが何度も失敗するのを許されるのでしょうか？私たちが失敗するのを許される背後に主にはすばらしい意図があることを、私たちは認識しなければなりません。主の意図は、私たちがうまくできないことを私たちに示すことです。私たちは救われる以前、うまくできませんでした。そして、救われている今も、私たちはうまくできません。主は私たちに、「私はできません」と告白して欲しいのです。もし私たちがこのことを言うことができるなら、私たちはかなり良いのです。

中高生編

罪のためのささげ物を経験するために、御言葉の照らしと自分の過去の失敗から、自分がただ罪に他ならないことを知る必要があります。あなたは、「私は罪に他なりません。I am nothing but sin.」と祈ってください。墮落した人は、罪深い(sinful)だけでなく、罪(sin)そのものであり、罪で構成されています。

神は、あなたの自己に全く望みがないことを知らせるために、あなたの失敗も用います。ローマ7:19 私は自分の欲する善を行わず、かえって自分が欲していない悪を実行しています。20 もし私が欲していないことを行なうなら、それを行ない出すのはもはや私ではなく、私の中に住んでいる罪です。21 そこで私は、善を行なおうと欲している私に、悪が共にあるという法則を見いだします。22 私は、内なる人によれば神の律法を喜びますが、23 自分の肢体の中には別の法則があつて、私の思いの法則に逆らつて戦つており、私の肢体の中にある罪の法則の中に、私をとりこにしているのを見ます。24 何と私は苦悩している者でしょう！だれがこの死の体から、私を救い出してくれるのでしょうか？

パウロはローマ7章の失敗と失望の経験を経て、8章の解放を経験しました。同様に、神はあなたの失敗と失望を用いて、あなたが罪に他ならないことを知らせるのです。例えば、あなたはテストのために勉強をする計画を立てます。しかし、勉強し始めると計画倒れになり、自分の理想とはかけ離れた現実を見出します。また、キリストンとして嘘をつきたくないのに、嘘をつかないことを決心します。しかし、決心した後、直ぐに嘘をついてしまいます。これはあなたの中に住んでいる罪があなたの善を行なおうとする意志に戦いを挑み、征服し、罪を犯させるのです。このような経験を経過して、あなたは今、キリストをあなたの罪のためのささげ物とする準備が整いました。ハレルヤ！主を賛美します。あなたは次のように祈ることができます、「罪のためのささげ物としてのキリストがなければ、私はただ罪に他なりません。そして何もすることができません。しかし、私は罪のためのささげ物としてのキリストの中で、すべての事を行なうことができます」。「Apart from Christ as our sin offering, I am nothing but sin and not able to do anything. But we can do all things in Christ as our sin offering」。

経験②: 神のために絶対的に生きるという観点から、罪のためのささげ物を経験する

神は…私たちを、私たち自身のために創造したわけではありません。しかし、私たちは、神から独立して生きています。私たちは人を憎むとき、神から独立しており、人を愛するとき、やはり神から独立しています。これは神の目に、私たちの憎しみも愛も同じであることを意味します。さらに、私たちの憎しみも愛も、私たちの霊からではありません。そうではなく、いずれも…私たちの肉からであり、いずれも善悪知識の木からです。善悪知識の木はサタンを表徴します。…行なうことが善でも悪でも、サタンからであるかもしれません。私たちが自分自身から行なうような事も、善くても悪くても、自分自身のためです。そしてそれが自分のためであつて罪であることを、私たちは認識する必要があります。…私たちは自分自身のために、すなわち、自分自身の名声、地位、利益、誇りのために人を愛するかもしれません。

クリスチャンの親として私たちに子供に対する愛は、…肉の中にあるかもしれません。新約は、主の中で子供を育てるように私たちに勧めています。しかしながら、私たちは自分自身のために、また自分の将来のために子供を育てるかもしれません。これは罪です。

在職青年/大学院生編

人が神によって創造されたのは、神を表現し代行するためです。人は神以外の何もののためでもあるべきではなく、神のために絶対的であるべきです。もしあなたが主に仕えることが自分自身のためであるなら、これは罪です。もしあなたが自分自身を宣伝伝えるなら、これは罪です。もしあなたが自分自身のために、すなわち自分自身の名声、地位、利益、誇りのために他の人を愛するなら、これは罪です。もしあなたが自分自身のために、また自分の将来のために子供を育てるなら、これは罪です。

あなたはキリストを全焼のささげ物として享受すればするほど、自分がいかに罪深く、罪に他ならないことをますます認識します。そしてあなたは以前よりも深く、彼をあなたの罪のためのささげ物とすることができ、また、あらゆる違犯の源はあなたの肉の中にある罪であり、あらゆる違犯の原因が神のために絶対的に生きていないことであるのに、気づきます。

あなたは自分の職業を自分の享受と栄光のためであると考えてはいけません。また、自分のため、あるいは自分の家族のために仕事をしてはいけません。神のために絶対的に生きるという光の下で、あなたには罪のためのささげ物としてのキリストが必要です。あなたは毎日、キリストをあなたの罪のためのささげ物とし、また違犯のためのささげ物とする必要があります。そして、さらに深くキリストをあなたの全焼のささげ物として経験します。

大学院の入学試験に関する兄弟の証し: 私は大学四年生の夏休みに、大学院受験のために勉強をしていました。その当時、同級生の就職活動は夏休みより前に終わり、就職先が内定していました。私は大学院受験のために就職活動をしていませんでした。受験日は10月にあり、もし不合格になると、それから就職活動することはほとんど不可能で、一年間就職浪人する必要があります。このような状況と私が四年間あまり熱心に勉強していなかったことから来る学力不足のゆえに、私は非常に焦り、「主よ、私が大学院の受験が合格するように助けてください。合格すれば、その後何でもしますので、とにかく合格させてください」と祈りました。祈った後、主は私に尋ねられました、「あなたは大学院を愛するのか？それとも私を愛するのか？」。私は直ちに答えました、「主よ、そんな厳しいことを言わずに、とにかく通してください、何でもしますので、お願いします」。しかし、主は続けて同じ質問をされました、「あなたは大学院を愛するのか？それとも私を愛するのか？」。このようなやり取りが何度もあった後、私は主を変えることができないことを理解し、主に祈りました、「私はあなたを愛します。仮に大学院を不合格になつても、私はあなたを愛します。私は不合格になると格好悪いと考えることを一切忘れ、ただあなたを見つめ、あなたを愛します」。不思議なことに、このように祈った後、直ちにキリストの平安が私の内側にやって来ました。そして、大学院の進学は主が導いておられるという確信を得ることができ、主の導きの下で合格することができるという感覚を持つことができました。その後、勉強に集中して準備することができ、結局合格することができました。

227 その靈の豊満—十字架を通して

1. 血しおのきよめにて、 あぶら塗りは来る。
ゴルゴタを経なければ、 ペンテコステはなし。
きよめられなければ、 ちからを受けられず。
主をあかすするため、 自己を死にわたす。
(復)
十字架をとおして、 たましい捨てる。
だい価をはらって、 聖れいで満ちる。
2. まず、いわが打たれて、 生けるみずがわく。
死をけい過したのち、 聖れいは満ち満ち。
すべてを損と見なし、 主とともに死ぬなら、
主のちからはくんだり、 世からすくわれる。
3. まずさい壇、つぎに火、 うしなつて実を得る。
すべてささげないなら、 御座こいたらない。
すべてのことを捨て、 かみにふくするなら、
われら、ちからを得て、 主の委たく受ける。
4. まず、うつわ用意せよ、 あぶら満たすため。
まず、たに掘り起こせ、 みずをながすため。
ヨルダンけい過すれば、 靈の感かく増加する。
死のバプテスマ経て、 栄光のはとを得る。
5. じゆくしたさくもつを、 刈り入れるときに、
たねがまず地に落ち、 死んだことを知る。
死のけい驗とおして、 いのちははなひらき。
ほうむりをけい過し、 靈のちからを得る。
6. 主よ、このせまきみち、 われにあゆませよ。
たい志、野心を捨てて、 したがい、苦難受く。
ちからではなく、ただ つかき死をもとめる。
主よ、十字架の意義を、いま成し遂げませ。

279 FULNESS OF THE SPIRIT-BY THE CROSS

(Different melody メロディーが異なる)

1. First the blood, and then the ointment,
Cleansing, then anointing comes;
If we pass not thru Golgotha,
Ne'er to Pentecost we'll come.
If the blood has never cleansed us,
Ne'er the Spirit's pow'r we'll know,
If for Christ we'd truly witness,
Self-life to the Cross must go.

(Chorus)

**Through the Cross, O Lord, I pray,
Put my soul-life all away;
Make me any price to pay,
Full anointing to receive.**

2. Christ, the Rock, must first be smitten,
That the living water flow;
Without death the Spirit's fulness
Ne'er could dwell in man below.
If with Christ we die completely,
Willing thus our all to lose,
He will clothe us with His power
And to win the world will use.
3. First the altar, then the fire,
If no loss, there'll be no gain;
If our all has not been offered,
To the throne we'll ne'er attain.
If to sacrifice we're willing,
All forsaking, God t'obey,
He to us will be committed
And thru us His pow'r display.
4. First we must prepare the vessels
That the Oil they may contain;
Dig the valley full of ditches
That they may be filled with Rain.
First we must go thru the Jordan
Ere anointed from above;
First in death we must be baptized,
Then experience the Dove.
5. When we see the ripened harvest
Of the golden countryside,
We may know that many seeds have
Fallen to the earth and died.
Ere the fruit of life may blossom,
We must surely suffer death;
If with Christ we've not been buried,
We'll not feel the Spirit's breath.

6. Since it must be thus, I pray, Lord,
Help me go the narrow way;
Deal with pride and make me willing
Thus to suffer, Thee t'obey.
I for greater power pray not,
Deeper death is what I need;
All the meaning of the Cross, Lord,
Work in me-for this I plead

228 聖靈の豊満—藉十字架

1. 後是膏油先是血， 要得滋潤先得潔；
若非經過各各他， 必不能到五旬節。
我們若未蒙洗淨， 能力必不從上傾；
我們若要作見證， 必須釘死己生命。
(副)
**因此求主藉十字架， 治死我的魂生命；
使我願出重大代價， 來滿受主的聖靈。**
2. 先是用杖擊石磬， 後來活水纔溢漫；
死亡若未作過工， 聖靈必定不充滿。
我們若真同主死， 願意萬有都損失，
主的能力要降臨， 使用我們救亡世。
3. 先是祭壇後是火， 若沒喪失就沒果；
若非所有先奉獻， 必定不能登寶座。
我們若真肯犧牲， 捨棄萬事降服神，
我們必定得能力， 因主信託順從人。
4. 先是豫備瓶子空， 後是膏油盛其中；
先是山谷挖成溝， 後來活水纔深泓；
先是經過約但河， 後是靈感加倍多；
先受死亡的浸洗， 後得榮耀的聖鴿。
5. 當你舉目望禾田， 金穀豐盈你稱羨；
當念果實未生時， 就有麥種死在先。
若要生命的子粒， 須有死亡的經歷；
凡人未到髑髏地， 就無聖靈的能力。
6. 既是這樣， 求我主， 使我忠誠走窄路，
除去雄心和大志， 只願順服並受苦；
更大能力我不取， 更深的死我所需；
但願加略的意義， 完全成功在我軀。